

は じ め に

今日、社会の大きな変化の中、現代の子どもたちについて、生命尊重の心や自尊感情が乏しいことや規範意識が低下していること、集団活動を通じた社会性の育成が不十分であるといったことが指摘されています。そして、こうした現状を踏まえて、道德教育の一層の充実を図ることが求められています。

新学習指導要領では、道德教育充実のためには、道德の時間の指導に大きな役割を果たす教材の充実が必要であることから、「児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発と活用」をしていくことが示されています。具体的には、道德の時間の目標の達成を図り、子どもたちに充実感をもたらすような生き生きとした指導を進めるために、魅力的な教材を多様に開発しその効果的な活用に努めることが求められています。

県教育委員会では、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、地元の身近な素材を活用し子どもたちの心に響く道德の授業の展開のために、「広島県道德教育指導資料」の作成を進めてきました。平成 21 年度は、その第一部として、地域の素材を活用した魅力的な教材の開発の手順等を掲載した「地域教材開発の手引」を作成しました。今年度は、この手引を利用して、市町の道德教育推進協議会等や各校で、地域の「ひと・もの・こと」といった素材を活用した教材づくりが積極的に行われ、県内各地で、その地域ならではの特色ある教材が数多く作成されています。

そこで、今年度は、作成した教材を効果的に活用できるように、第二部及び第三部となる「読み物教材例集」及び「授業展開例集」の作成に取り組んできました。

本書は、「先人の伝記」「自然」「伝統と文化」「スポーツ」の四つの分野を題材とした地域教材について、児童生徒の発達や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うことができるように、展開例や資料分析表、板書例やワークシートなどを掲載しています。さらには、作成した資料や地域の特色を生かし、子どもたちが道德的価値について深く考えることができるような、道德の授業における活用の仕方のヒントを満載しています。また、すぐに授業に活用できるように、教材やワークシートをホームページからダウンロードできるようにしてあります。

各学校においては、「地域教材開発の手引」(平成 21 年度発行)及び本書を活用し、道德の時間の一層の充実が図られますよう期待しております。また、本書の活用を通して、学校が発信の中心となり、地域と子どもたちを結ぶ授業実践が推進され、子どもたちの人間としてのよりよい心の成長を促すことにつなげていただけることを願っています。

最後になりますが、本書の作成にかかわり、御指導いただいた多くの先生方、御尽力いただいた道德教育指導資料作成委員会委員及び分野別作成部会員の皆様方に対し、心から感謝申し上げます。

平成 23 年 3 月

広島県道德教育指導資料作成委員会
委員長 中村 弘市